



平成 29 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 東 洋 紡 株 式 会 社  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 櫛 原 誠 慈  
 (コード番号 3101 東証一部)  
 問 合 せ 先 コーポレートコミュニケーション部長 久保田 冬彦  
 (TEL 06-6348-3044)

通期業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

最近の動向を踏まえ、当社は、平成29年11月9日開催の取締役会において、平成29年8月7日に公表しました通期の連結業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1)平成30年3月期通期 連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	340,000	25,000	23,000	13,500	152 06
今 回 修 正 予 想 (B)	340,000	25,000	22,000	19,000	214 02
増 減 額 (B-A)	0	0	△ 1,000	5,500	
増 減 率 (%)	0.0	0.0	△ 4.3	40.7	
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	329,487	23,332	20,650	9,444	106 38

※平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株の割合で株式併合を行っています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しています。

(2)差異および修正の理由

通期の業績予想につきましては、包装用フィルムは年初に打ち出した価格改定の決着が第1四半期末までずれ込んだものの、工業用フィルムは販売を伸ばすなど、全体としては概ね計画通りに推移していますが、前回発表予想時に比べ、営業外費用の増加が見込まれることなどから経常利益を見直しました。これらに加え、平成29年9月22日公表の「固定資産(信託受益権)の譲渡および特別利益計上に関するお知らせ」に記載のとおり、平成30年3月期第3四半期連結決算において東洋紡本社ビルの信託受益権譲渡に伴う「固定資産売却益」を特別利益に計上する予定です。そのため、平成30年3月期通期の連結業績予想の親会社株主に帰属する当期純利益は、前回公表数値を約55億円上回る見込みとなりました。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 平成30年3月期配当予想の修正(増配)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (平成29年8月7日公表)	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 —	円 銭 35 00	円 銭 35 00
今回修正予想	—		—	40 00	40 00
当期実績	—	0 00			
前期実績 (平成29年3月期)	—	0 00	—	3 50	3 50

※平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株の割合で株式併合を行っています。これに伴い、平成30年3月期の1株当たり期末配当金(予想)につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しています。

### (2) 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元は、企業にとって最重要事項の一つと認識しています。剰余金の配当の決定に関しては、持続性のある利益水準、将来投資のための内部留保、財務体質の改善などを勘案しつつ、安定的な配当の継続を基本方針としております。

本日公表の平成30年3月期第2四半期連結累計期間の決算が概ね計画通りに推移していることから現時点における期末配当予想を前回の配当予想から1株当たり5円増配し、1株当たり40円とすることといたしました。今後も上記方針を踏まえ、検討を続けてまいります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上